

# ひろげる・つなぐ・かえる

2010  
11

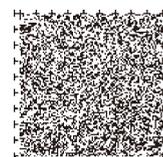


ミニつくりびと展



「ミニつくりびと展」 みえ県民交流センター・交流スペースにて

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



今週も三重県内で色々な話を聞いた。

尾鷲市は、今から50年も前に最高人口を記録し、以来ずっと人口は減少している。この状態を「過疎」とよんでいたが、次期総合計画では、全国的にみても人口減少社会のトップランナーだとして、これまで蓄積した人口減少・高齢社会対応のノウハウを活かした、これまでとは違う総合計画を作っていきたいと担当者は意気込んでいる。県北に住む者として、尾鷲をどう支援できるか、いつも悩む。

ある町では、不気味な話を聞いた。とある田舎で、孤独死があったという。しかも、その家の庭は近所の人々の手で綺麗に掃除されていた。戸板一枚隔てて、孤独死した人がいるにも関わらず、善意から庭を掃除している近所の人々の姿がなんとも痛ましい。面識社会の重要性が説かれつつも、個人情報の壁の厚さを感じさせる出来事ではある。

この二つの話が基になって、「美し国おこし・三重」の評価委員会では、こんな発言をした。

「美し国おこし」の活動によって、県庁組織が変わるという目標が必要なのではないか。つまり、「新しい時代の公」を創るためには、課題と解決手法が見えやすい「小さな地域での自立・持続可能な住民の自治活動」を創っていくことが必要である。そのために、「美し国おこし」があるが、その最終目標は、県が、市町とともに、住民の自治活動を支援する大きな中間支援組織になることを意味するのではないか。市町を越えた支援のネットワーク作り、例えば、三重版の排出権取引による県南の支援や個人情報の開示も盛り込んだローカルルール策定支援など、県のノウハウを活かす場面は多くあるはずだ。法がその動きを阻むのであれば、その壁を崩すことが県の役割なのではないか、等々。

皆さんも対応に苦慮されることの多いであろう「美し国おこし」ではあるが、こんな目標を皆さんから提示していくことも必要なのではないだろうか。

## 助成金情報



子育て・青少年育成



市民活動



福祉

### 子育て

公益財団法人 キリン福祉財団

#### 地域における子育てに関わるボランティア活動助成

**受付期間** 9月28日(火)～11月15日(月)(当日消印有効)

**対象団体** 地域での子どもに関わる福祉活動を目的とする民間団体で、4名以上のメンバーが中心となって活動する団体・グループ。現在活動中であれば、活動年数・法人格の有無は問いません。

**対象活動** “地域” “子育て” “ボランティア” をキーワードとし、地域における、子どもに関わる幅広い活動。(子育てについては、親育て・親育ちを含む広い意味での活動とします)

**助成金の額** 総額4,000万円、1件(1団体)当たりの上限額30万円 ※多くの団体に助成させていただくため、30万円以内の申請であっても金額の一部を減額させていただきます。いただく場合がございますのでご了承ください。

**助成期間** 平成23年4月～平成24年3月

**応募方法** ①必要事項を明記し、ご捺印いただいた「公募助成申込書」(4枚)1部

②団体の活動・事業の内容がわかる資料1部以上を財団事務局宛にご送付ください。

※ご送付いただいた書類は返却できませんのでご了承ください。申込み書類一式は、下記ホームページからダウンロードできます。

<http://www.kirin.co.jp/foundation>

**問い合わせ先** 公益財団法人キリン福祉財団事務局  
〒104-8288 東京都中央区新川2丁目10番1号  
Tel 03-5540-3522 (千葉・栃内)  
Fax 03-5540-3525

### 青少年育成

#### JT 青少年育成に関する NPO 助成事業

**受付期間** 10月1日(金)～11月20日(土)(当日消印有効)

**対象団体** ①非営利法人であること。  
②2010年9月30日時点で、法人として1年以上の活動実績があること。  
③法人の設立目的や活動内容が、政治・宗教・思想などに偏っていないこと。

**対象活動** 青少年の自然体験活動、不登校・ひきこもり児童支援事業など、日本国内において地域社会の核となって実施する青少年の健全な育成につながる活動。  
※育成の対象となる青少年は、小学生から高校生までを考えています。

※原則として、事業に直接的に参加する青少年が全参加者数の半数以上であることとします。

**助成金の額** 1件につき年額最高150万円、40件程度

**助成期間** 平成23年4月1日～平成24年3月31日

**応募方法** 所定の応募書類に必要事項をご記入の上、添付書類とともに事務局まで送付してください。

<応募書類の入手方法>

①ホームページからダウンロード

<http://www.jti.co.jp/csr/contribution/social/npo/index.html>

②郵送 応募締切日の2週間前までに、

団体名、代表者名、郵便番号、住所、電話番号を記載のうえ、切手200円分を貼付した返信用封筒(角型2号)を同封し、「応募書類郵送希望」と明記して事務局宛に郵送してください。折り返し応募書類を送付します。

※電話、FAXによる送付依頼はお断り致します。

## 安心・安全な地域社会の実現をめざして

今回は、アスト津のオフィス棟にて、NTTドコモの社会貢献の取り組みについてお話を伺いました。

NTTドコモ 東海支社 三重支店長

**加藤 正毅さん**

CSR活動を企業経営の根幹に据えて、積極的に活動しているNTTドコモでは、ステークホルダー（利害関係者）との対話と連携なくして、こうした活動は存続し得ないと、その方針は明快である。

全国で7番目に整備された三重県の「ドコモの森（桜番所の森）」に代表される環境保全活動をはじめ、さまざまな人材育成事業の取り組みの中、今一番力を注いでおられるのが教育部門である。近年携帯電話の普及は著しく、利便性が高まる一方で、特に青少年への負の側面も持ち合わせていることから、モラルや公共の場所でのマナー、リテラシー教育が求められるようになってきた。2004年度から、「ケータイ安全教室」を全国の小・中・高校で実施しているが、社員自らスキルを磨き講師を務めているという。また、映像でわかりやすくまとめたDVD「ケータイ安全教室 映像教材」も、

三重県内では教育委員会と相談のうえ県内約600校へ配布された。

本年9月には、NTTドコモを母体とするNPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンドからの寄付金50万円を三重県社会福祉協議会へ寄贈し、8年目になるという。またアジア各国からの私費留学生に対して、全国で年間20名に奨学金の支援を行っている。

加藤支店長は、「ドコモの森」の事業をはじめ、市民活動団体との連携なしにはできない活動であり、安全教室などの地道な支援は、将来の企業の担い手になっていただく方たちへの大切な先行投資でもあるという。地域に軸足を置き、世界を見据えた持続可能な社会の発展に向けた広範な社会貢献活動の概要をお聞きし、情報通信技術のトップランナーとしての誇りと責務を感じさせるインタビューとなった。

※応募に関する注意事項はホームページ等でご確認ください。

**問い合わせ先** 日本たばこ産業株式会社 CSR推進部 社会貢献室  
〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル  
Tel 03-5572-4290 Fax 03-5572-1443

### 市民活動

#### (株)三重銀行「NPOサポートファンド」

**受付期間** 10月25日(月)～11月25日(木)(当日消印有効)

**対象団体** 三重県内に主な活動拠点を置き、主に「子育て支援」、「環境保全」に関する活動を行っているNPO(法人格の有無は問いません)。

**寄付** 寄付総額100万円を上限として10団体を目安に配分(ただし、1団体当たり上限は20万円)。なお、団体あて寄付のため、資金用途は自由です。

**応募方法** 次の資料を選考委員会事務局の三重銀総研へ郵送。  
①エントリーシート(三重銀総研ホームページからダウンロード)  
②団体の目的や理念を記載した資料(定款、規約など)  
③直近事業年度1年間の収支状況を記載した資料(財務諸表など)  
④その他、活動内容をPRできる資料(パンフレット、会報など)

**問い合わせ先** (株)三重銀総研(担当 馬場)  
〒510-0087 三重県四日市市西新地7-8  
Tel 059-354-7102 Fax 059-351-7066  
E-mail mir@miebank.co.jp  
ホームページ <http://www.miebank.co.jp/mir/>

### 福祉

#### 平成23年度実施ボランティア活動資金助成

**受付期間** 平成23年1月7日(金)までとします。

**対象団体** 各市町社会福祉協議会にボランティア団体として登録している団体。(繰越金が補助基準額を超えている団体については対象外です)

**対象活動** 福祉活動を目的としたボランティアグループの活動、先駆的・モデル的な活動(福祉のまちづくり)が対象です。ただし、次に掲げるものは対象としません。  
①行政や他の団体から助成補助を受けている事業  
②従来の事業をそのまま行う事業  
③営利を目的とする事業  
④調査研究が主である事業

**助成金の額** 1団体50万円以内

【助成対象経費】次に掲げるものは対象としません。

①団体の経常的な運営管理経費(職員の人件費・家賃などの経費)、飲食経費等  
②備品の購入経費  
③会員に対する謝金、旅費  
④事業内容に照らして不適切な経費

**助成期間** 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

**応募方法** ボランティア団体として登録している社会福祉協議会に「助成金交付要望書」を提出し、推薦を受けてください。応募は、1団体1事業とします。

(必要書類) ①平成22年度予算書、平成21年度決算書  
②定款または運営規約  
③会員名簿

**問い合わせ先** 財団法人 三重ボランティア基金事務局  
〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131  
Tel 059-227-9994 (平井・中村)

# NPO から寄せられた募集とご案内

## NPOの新しいごきを議論する

### みえNPO検討会

第7回 市民からの政策提言 認定NPO法人、NPO税制を議論する。

シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 副代表理事の松原明さんを講師に、NPO法・NPO税制・認定NPO法人制度などについて、全国のNPO関係者の要望をまとめ、国に政策提言し実現するという事について議論します。

**日時** 11月5日(金) 19:00～21:00

第8回 市民社会のコミュニケーションインフラ

コミュニティメディアの展開

龍谷大学経済学部准教授松浦さと子さんを講師に招き、市民がインターネットをはじめとするコミュニケーションインフラを活用し、いろいろなコミュニティメディアが活躍していることについて議論します。

**日時** 11月19日(金) 19:00～21:00

**場所** アスト津3階(津駅東口隣接ビル) みえ市民活動ボランティアセンター

**問い合わせ先** (特活) みえNPOセンター  
Tel 059-222-5995

**メール** mienpoken-office@miraiwork.jp

**HP** <http://www.mienpocenter.org>

## チャイルドライン

### チャリティー映画会「葦牙」

映画「葦牙」は、岩手県盛岡市の児童養護施設「みちのくみどり学園」で子どもたちが、施設の指導員、地域の支援者や施設の仲間らと向き合いながら心の傷を癒し、夢に向かって歩む姿が描かれています。

※開催日と会場は以下のとおりです。

時間は地域により異なるためお問い合わせ下さい。

- ① 11/6(土) 鈴鹿市男女参画センター ジェフリーすずか
- ② 11/13(土) 大山田コミュニティプラザ 中会議室
- ③ 11/14(日) 皇學館大学記念講堂
- ④ 11/19(金) 松阪コミュニティ文化センター
- ⑤ 11/19(金) 青山ホール
- ⑥ 11/23(祝) アストプラザアストホール
- ⑦ 11/27(土) 熊野市文化交流センター
- ⑧ 12/10(金) いなべ市大安公民館

**参加費** 大人1,000円(当日1,200円) 中学生以下500円

**主催** ①葦牙鈴鹿実行委員会主催 ②(特)くわな子どもネット主催 ③「葦牙」森田ゆり

講演会」実行委員会主催 ④(特)松阪子どもNPOセンター主催 ⑤伊賀名張実行委員会主催 ⑥(特)津子どもNPOセンター主催 ⑦(特)子どもステーションくまの主催 ⑧(特)くわな子どもネット主催

**問い合わせ先** (特活) チャイルドライン MIE ネットワーク・(特活)三重県子どもNPOサポートセンター

Tel & Fax 059-211-0024(油田)

**メール** info@childlinemie.net

**HP** <http://www.childlinemie.net/>

## 四日市市個性あるまちづくり支援事業

### シーバルクボランティア養成講座

まちづくりや世代間交流に役立つツールとして、農業用ビニールシートを張り合わせた造形物「シーバルク」の設置・管理の技術を学び、子どもが育つまちづくりについての理解を深めます。

【第1回】参加者交流会

**日時** 11月13日(土) 17:00～

**会場** こどもスペース事務所

【第2回】シーバルク設置体験

**日時** 11月27日(土) 9:00～16:00

**会場** 笹川東公園

【第3回】公開講座

天野秀昭さん講演会「子どもが育つまちづくり」

**日時** 12月19日(日) 13:00～15:00

※講座終了後、意見交換会、まとめの会を予定しています。

**会場** 四日市市勤労者・市民交流センター東館 大会議室

※第4回以降(2011年に実施)の詳細は問い合わせください。(全6回)

**対象** 子どもやまちづくりに関心のある方(中学生以上)

**参加費** 通しで受講1,500円、公開講座のみ700円 ※要申し込み

**主催** (特活) 体験ひろば☆こどもスペース四日市

**問い合わせ先** Tel & Fax 059-321-0883(上田)

**メール** space@m4.cty-net.ne.jp

**HP** <http://www4.cty-net.ne.jp/~space/>

## ディスレクシアでも大丈夫

### 発達障害と特別支援教育を学ぶ市民講座

LD(学習障害)におけるディスレクシア(読む、書くなどが困難)の子どもたちが何につまづき、何に困っているのか、どんな支援が必要かなど、発達障害と特別支援教育について学びます。※参加無料、手話通訳・要約筆記あり

**講師** (特活) EDGE(エッジ) 会長

藤堂栄子氏

**日時** 11月14日(日) 13:30～15:30

**場所** 四日市市総合会館8階視聴覚室

**主催** (特活) 四日市・子ども発達支援センター

**メール** y\_kodomo\_siencenter@livedoor.com

**HP** <http://www16.plala.or.jp/kodomo-yokkaichi/>

## 2010年三重県子ども虐待防止啓発月間協力事業

### 11月19日 子育てほっとダイヤル

～虐待予防は子育て不安の解消から!～  
子育ての悩みなどについて、助産師、心理カウンセラー、小児科医師、保健師、保育士などが交代で、無料で電話相談をお受けいたします。

**日時** 11月19日(金) 9:00～  
11月20日(土) 9:00まで  
21世紀 よくなる産後  
0594-21-4935

**対象** 県内で子育て中のお父さん、お母さん、またはご家族の方

**協力機関** 県内5児童相談所、日本子どもの虐待防止民間ネットワーク

**後援** 三重県・桑名市・桑名医師会

**問い合わせ先** (特活) MCサポートセンター みっくみえ

Tel 0594-21-4935

Fax 0594-22-9835

**メール** fcmatsu@lily.ocn.ne.jp

**HP** <http://www3.ocn.ne.jp/~mcs/>

## 研修会・相談会

### 三重県ことばを育む会

【研修会】

三重大学教育学部教授・姉崎弘先生の講演「発達障害のある子を支援する教育」

**日時** 11月20日(土) 10:00～12:00

**場所** サンワーク津 研修室(津市島崎町143-6)

【相談会】

お子様のことば、聞こえ、発達に不安のある方、専門の先生方に相談できる機会です。

**日時** 11月20日(土) 13:30～16:00

**場所** サンワーク津 第2・第3会議室

**参加費** 研修会・相談会ともに無料

**応募締切** 11月15日(月)

**応募方法** Faxの場合は所定の申込み用紙、E-mailの場合は住所、保護者・本人氏名、年齢、連絡先を明記のうえ応募ください。

**問い合わせ先** 三重県ことばを育む会

Tel & Fax 0595-83-5002 (福田)

✉ fukudakk@human.mie-u.ac.jp

### 地球温暖化を理解し、子供たちの先生に! 「地球温暖化対策講師養成セミナー」の第4期生募集

地球温暖化防止に関して、その対策にかかる講師を養成します。セミナー講師陣は、日本風力エネルギー協会元会長の清水・三重大学名誉教授、日本作物学会元会長の谷山・三重大学名誉教授、児玉・三重大学教授、藤岡・津市議会議員ほか。大半の講義を聴講した方に修了証を授与します。

**日時** 第1回セミナー 11月20日(土)  
14:00～16:00  
以降、毎月1回(原則第2土曜日)  
2011年8月まで全10回開催

**場所** アスト津3F みえ県民交流センター

**参加費** 無料

**応募締切** 11月20日(土)

**問い合わせ先** NPO 連合「グリーンカレッジみえ」  
Tel & Fax 059-228-4410(内藤)

✉ m-sunsun@zc.ztv.ne.jp

### 三重FPフォーラム 2010 in 松阪 ライフプランセミナー

「アクティブに生きるためのライフバスケットのなかみ!」  
～40才から考える財布の健康～

**日時** 11月21日(日)  
13:30～15:30(13時受付)

**場所** 松阪市産業振興センター 3F  
研修ホール(松阪市本町2176番地) ※予約不要、先着180名様まで聴講可能

**講師** 鬼塚眞子氏(ジャーナリスト・ファイナンシャル・プランナー)  
※来場者にくらしとお金に関する雑誌3冊プレゼント  
※ファイナンシャル・プランナーによる無料個別相談会を同時開催(要事前申込)

**相談時間** ① 13:30～ ② 14:30～  
③ 15:30～

**主催** (特活) 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 三重支部

**問い合わせ先** Tel 0120-874-018  
(10:00～16:00 土・日・祝日除く)  
Fax 052-563-4645

✉ mie\_bb@jafp.or.jp

**HP** <https://www.jafp.or.jp/shibu/mie>

### あの人気講座が再び!

～パソコンにたよらないチラシ作り講座～

#### 「一色で勝負! 2010」

モノクロ(一色)チラシでも“ちょっとしたコツ”を実践するだけで、チラシの効果は大きく変わります。主な内容は「パソコンにたよらないチラシ作りのコツ」、「カラーに負けないモノクロチラシのコツ」、「モノクロコピー機、輪転機で作るチラシのコツ」など。

※松阪市外の方も受講可。

**日時** 11月26日(金) 19:00～21:30

**場所** 松阪市市民活動センター(松阪市日野町788カリヨンプラザ3F)

**対象** チラシ作りの基礎を学びたい方

**講師** デザインオフィス アトリエアートマン代表: 澤 卓哉

**参加費** 受講料 2,000円

(諸経費を除いた全額を市民活動サポートに活用)

**募集人数** 先着 20名程

**応募締切** 11月19日(金)

**応募方法** E-mailで応募の場合は、件名を「チラシ作り講座「一色で勝負!」申込み」とし、「氏名」「住所」「職業」「連絡先」を下記アドレスへ送信。電話での申込みも可。

**問い合わせ先** 松阪市市民活動センター

Tel 0598-26-0108

Fax 0598-25-3803

✉ katsudou@ma.mctv.ne.jp

**HP** <http://www.katsudou.com/>

### NPOのマネジメントを支援するウェブサイト

#### 「みえNPOサポート」OPEN!

三重のNPOがより活動できる場を「継続」して「マネジメント」できるお手伝いをするために、ホームページ「みえNPOサポート」を立ち上げました。このサイトでは「資金調達のための事業計画の作成」「イベントをPRできる情報発信力」など、NPOのマネジメントをサポートするコンテンツを盛り込みました。NPO法人を設立したい人、県内NPO法人をサポートしたい企業や団体の皆様、NPOの情報発信、情報交換の場などとしてご活用ください。

**問い合わせ先** (特活) a trio (ア・トリオ)

Tel&Fax 059-253-7657

(村岡、中村、山口)

✉ info@a-trio.net

**HP** <http://mie-npo.com/>

✉ E-mail **HP** ホームページ

#### 【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要な事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
- (2) E-mail は件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

#### ホームページ

##### 原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

## NPOサポートファンド

寄付先募集中

☆総額100万円!使い道は自由です!

**応募資格** 三重県内に主な活動拠点を置き、主に「子育て支援」、「環境保全」に関する活動を行っているNPO(NPO法人)のほか、任意団体などを含みます。

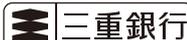
**応募締切** 11月25日(木) <消印有効>

**選考方法** 書面、プレゼン選考により寄付総額100万円を上限として、10団体を目安に配分(1団体当たり上限20万円)

詳しくは  
ホームページで

【お問い合わせ先】  
株式会社三重銀行 調査部  
TEL:(059)354-7102(担当 馬場)  
URL:<http://www.miebank.co.jp/mir/>

“大切なこと、大切に”



株式会社、社団法人等の法人設立から許認可手続きまで

## NPO・社会福祉法人設立

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

法務よいよ  
フリーダイヤル 0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC内)  
三重県津市本町14-18 URL [www.e-houmu.info](http://www.e-houmu.info)

# 理念と歩みから学ぶ NPO物語

NPOSTORY

## Vol.19

組織にスポットライトをあて  
三重県内の市民活動団体を  
紹介していきます。

### “共に生きる地域社会づくり”を めざして

特定非営利活動法人 伊賀の伝丸  
代表理事 和田 京子

#### 誰かにつながっていれば生きる勇気もわいて くる、そういう活動がしたい

特定非営利活動法人伊賀の伝丸つたまる（以下、「伝丸」と略）  
の創設の経緯について教えていただけますか。

海外に行くこともほとんど初めてで、インドネシア語もロクにできなかった私が、突然、夫の海外赴任でインドネシアに住むことになりました。文化も気候も日本と全く違うので、最初はすぐつらくて寂しくて、半分泣いて暮らしていました。ところがインドネシア語の先生が、インドネシア人の女性で年齢も近く、友達のような感じでいろんなことを教えてくださり、段々生活が楽しくなり、いろんな問題も言葉が分かると解決していきました。4年近くを向こうで過ごしたのですが、彼女のおかげで、日々楽しく、生き生きと暮らすことができ、インドネシアを第二の故郷と思うようになり、日本に帰ってくるのが嫌になるほどでした。

その後帰国し、今後の生活の拠点をどこにしようかと考えていたとき、地元伊賀に帰ってみたら、何か外国の人が多いなあと。いままでは見たこともないような人もいたら、なんとインドネシアの方もいて、かつては考えられなかった状況が伊賀にある、ということに衝撃を受けました。スーパーの野菜売り場にいるそのインドネシアの人たちに懐かしさもあり、声を掛けました。彼らからも「この野菜は何だろう」と、話しかけてきたんです。昔の私をみるようでした。あまり地元に戻りたくはなかったけど、もしかして私にも活躍できる場があるんじゃないかと、そのとき気づいたのでした。

ちょうど中間支援団体の“ウィリアム・テルズ アップル”が通訳ボランティアを募集していて、早速、仲間に入れてもらいました。

皆さんから話を聞くうちに、日本で新しい暮らしに飛び込んだ外国人にとって、大変つらい状況や、どうしようもない現状があることを知ったんです。私自身は、インドネシアで生きる気力が無くなるほど落ち込んだとき、助けてくれる人とのつながりがあった。

誰かにつながっていれば、問題を解決したり、生きる勇気がわいてくる。そういうものの必要性、そういう活動が伊賀でできないかと思って、三重県NPO室が開催した市民活動塾に通いました。「私が思っていることはNPOなんや、これからはそういう時代なんや」と知りました。

ほどなく通訳ボランティアのメンバーで独立し、伝丸を立ち上げたのです。その後、起業塾などに通い、名刺の渡し方や経理面の固定費、変動費などを勉強して、事務所をオープンしました。事務所を持つてからは、通訳・翻訳を始め、次は相談事業や語学講座もというように広がっていきました。



スーパーでの無料生活相談

## 外国人もまちの構成員として、力が発揮できるように

### 伝丸のミッションをお聞かせください。

私は、人のサポートがなくても生活できると思っていたけれども、インドネシアでは、自分の力が本当に何も出せない状態でした。想像ですが、伊賀にいらっしゃる外国人も、言葉や制度が分からないことで、力を奪われてしまっているのでは、と。そういう時にサポートなり、情報なり、誰かがちょっと何かを手伝うことで、その人が地域の構成員として力を発揮する。そういう風にならないとその人も地域もしんどくなるだけ。

私は外国人支援という言葉は好きじゃなくて、伝丸を「外国人支援団体」とは考えていません。支援することはあるけれども、サポートや情報提供をすることで、外国人からも支援をしてもらったり、一緒にまちづくりをしてもらうことが、私たちの目標でありミッションです。伊賀は特に超高齢社会なので若い人が少ないですし、外国の人に頑張ってもらうしかない、逆に伊賀の起爆剤になってくれるのではと思っています。

もちろんたくさん手助けしないと生活がきびしい人も中にはいますが、子ども会の会長をしているブラジル人とか、隣の認知症のおばあちゃんの面倒をみているペルー人もいます。まちの構成員としてさらに力が発揮できるようになればいいと思います。NPO 活動は、地域、地域によって課題とか人材とか違うと思うんですよね。できれば地域密着で、地域の人材を知り、どういう人々がどういう暮らしをしているか、見える人が事業をすることが良いまちづくりにつながるのかなと思うんです。



伊賀市教育委員会、伊賀日本語の会と共催した進路ガイダンス

## 多文化への理解以前に、NPO に対する理解、協働に対する理解を切に願う

### 行政との関係については、いかがですか？

私個人の意見になりますが、NPO としては、政策提言も大事だし、そういうことを疎かにしてはいけないんだけ

れども、まずは事業体として、行政が使いたくなるようなサービス提供のできる運営をしっかりとしたいという思いが強いです。

行政にお願いしたいのは、NPO に対する理解とか協働に対する理解です。理解についてはまだまだだと思われ、いつも苦しむところです。例えば、予算を作るときに、人件費を「時給千円というのは、ちょっとねえ」と言われる。行政職員ってボーナスや有給休暇や退職金まで計算すると時給で3千円は下らないんですね。NPO で、結構難しいコーディネートの仕事をして時給千円というのはかなり安いと思うのですが、それが「ちょっと、高いんじゃないの」みたいなことを言われると、やる気が萎えてしまう。5千円つけてほしいとか、3千円をお願いとは言っていないのです。例えば2千円であっても、「それぐらいの仕事内容ですね」という、理解をしてほしいと願います。

協働に関しても、協働でやっている事業にも関わらず、勝手に行政側が発表しちゃったことがある。予算が行政から出ているという理由なのかも知れないですが、あたかも行政のみの成果のように、発表されていたりすると、がっかりする。協働事業であることの理解はしてほしい。

あとは市民のみなさん、住民自治組織の方もまだまだ NPO とボランティアの区別が難しい。「私たちの活動はボランティアですけど、いわゆるボランティアではないです」と言うと、「金取るのか、金払ってまでは一緒にしていらん」などと言われると、とっても残念です。ですから、市民の方には、NPO という新しい概念があるんだ、ということのを正しく理解してほしい。行政にお願いしたいのは多文化への理解以前に、職員一人ひとりから市民の方に至るまで、NPO への理解と啓発をし、私たちが協働しやすい基盤を作ってもらうことが、切なる願いです。

こういった活動は、物好きでやっていると思われがちだけでも、結構意味のあることなんだというのが分かってもらえたらいいかなと思っています。活動していて大変なことが多いですけど、でもやっぱり元気をもらえるというか、本当に生きていくのが大変きびしい外国の人からも、生きるエネルギーというのをすごく感じます。今の日本には足りないものを彼らは持っているんだと思うんですよね。たくましく地べたをはってでも生きていく、そんなエネルギーというのは、人間にとって大事ななど、サポートしながら勇気もらっています！

### 【データ】

〒 518-0861 三重県伊賀市上野東町 2934-11  
T e l 0595-23-0912  
F a x 0595-23-0912  
E - m a i l info@tsutamaru.or.jp  
ホームページ http://www.tsutamaru.or.jp  
代 表 者 和田 京子  
団体設立年月日 1999 年 4 月 1 日  
NPO法人化年月日 2005 年 4 月 4 日(登記)  
会 員 数 58 名  
会 費 3000 円/年



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

< Monthly Selection >

◆『地球環境基金』～平成 21 年度活動報告集～  
—地球環境基金の平成 21 年度活動概要— 1. 地球環境基金発足の背景 2. 地球環境基金の仕組み 3. 地球環境基金の造成状況 —平成 21 年度事業実績— 1. 助成事業 2. 振興事業  
編集・発行：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部  
発行日：2010 年 9 月

◆『全国ボランティア活動実態調査報告書』  
I. 調査の概要 II. 調査結果の概要 III. ボランティア組織対象調査 IV. ボランティア個人対象調査 他  
編集：全国ボランティア・市民活動振興センター  
発行：社会福祉法人 全国社会福祉協議会 発行日：2010 年 7 月

<おすすめ本> 取扱中!

◆『これからの SR 社会的責任』  
～社会的責任から社会的信頼へ～  
発行：社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク  
発行日：2010 年 2 月 頒価：700 円 (税込)  
※みえ市民活動ボランティアセンター窓口にてご購入いただけます。

とぴっくす

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時、取り上げます。

ファンド、資金を考える

多くの NPO にとって資金の問題は常に頭の痛い課題でもあります。助成金の申請や企画提案などにより事業を獲得したり、会員や寄付を増やす努力をして活動経費の捻出をはかるなど、不断の努力が求められています。

また財政規模の大小にかかわらず、日々の運営資金の資金繰りも悩みの1つです。一時的には“ろうきん”や銀行の NPO ローンという手立てもありますが、財政基盤の確立はすべての NPO の課題です。

そのような中で、多様な主体が公を支えていくために、市民や行政が NPO 基金等をつくらうとする動きも各地でみられるようになっており、市民一人ひとりはもちろん、NPO、行政、企業等すべてのセクターの意思と行動が問われています。

みえ市民活動ボランティアセンターから お知らせ Tel 059-222-5995/ ホームページ http://www.mienpo.net/center/

NPO無料よろず相談

毎回 2 団体先着順のため、相談日の 1 週間前までに  
お申し込みください。

**対象** NPO 法人設立を考えている団体や個人、  
NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

**日時** 毎月第一火曜日 (祝祭日の場合は翌日)  
(1) 10:00 ~ 11:00  
(2) 11:00 ~ 12:00

【今後の予定:11月2日、12月7日、1月11日】

**場所** アスト津3階 (津駅東口隣接ビル)  
みえ県民交流センター

**相談員** みえ県民交流センター指定管理者  
みえ NPO センター・ワーカーズグループ  
グループ代表 みえ NPO センターの代表理事、同事務局長

中間支援組織担当者  
ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか?～  
中間支援、NPO 支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合っ、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。  
(※隔月に開催)

**日時** 11月11日(木)  
13:30 ~ 16:00  
みえ出前県議会 13:30 ~ 15:30  
「県議会の役割について」  
「NPOの資金確保について」  
情報交流 15:30 ~ 16:00

表紙の写真

9月に津市で開催された、県内在住のものづくり作家による合同作品展「つくりびと展・参一つなぐ」のイベントとして、「ミニつくりびと展」を県民交流センター・交流スペースにて行いました。すばらしい作品の数々で、センターを訪れた方々にも楽しく鑑賞していただきました。今後も皆さまが楽しめるような企画や展示を行う予定です。交流スペースを使って団体の活動内容の展示や、作品などの展示もご利用可能です。詳しくはお問い合わせください。

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学/鈴鹿市立白子公民館 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中京大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/皇學館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザインセンター (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パートナー情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場

成立した特定非営利活動法人 (登記年月日)

平成 22 年 9 月 10 日 ~ 平成 22 年 10 月 9 日の  
期間に登記完了の届出はありませんでした。

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

